

教育活動の質の向上を図る カリキュラム・マネジメントに関する研究



- 学校全体で！個人で！・・・動画と紙資料の活用
- カリマネの三つの側面って何？
- カリマネを充実させるのに必要なことは何？
- カリマネのキャリア・ステージに応じた役割

1 学校全体で！個人で！「動画」で 始めるカリキュラム・マネジメント！

「カリマネって何？」
「誰が、何をすればいいの？」

▶ これらの疑問に、小・中・高校の研究協力校の管理職やミドルリーダー等が、動画で分かりやすく解説。

【学識経験者】

國學院大學
田村 学 教授

横浜国立大学
高木 展郎 名誉教授

【研究協力校】

- ・千歳市立緑小学校
- ・江別市立江別第一小学校
- ・北広島市立西部中学校
- ・江別市立江別第三中学校
- ・岩見沢東高等学校
- ・野幌高等学校

2 必要に応じて「紙資料」 をダウンロード(DL)！

研究協力校の実物資料や研修資料等を掲載。

▶ DL可能な資料（例）

【小学校】

- ①国語辞典を用いた調べ学習の周知を図る保護者向け文書
- ②学校経営計画のグランドデザイン

【中学校】

- ①コミュニティ・スクールの取組を紹介している保護者・地域向け通信
- ②教科等横断的な教育内容の組み立てに関する校内研修の推進計画

【高等学校】

- ①学校経営方針の策定に向けた資料
- ②授業改善について共通理解を図る校内研修の資料

カリマネの三つの側面って何？

各学校において、教育課程編成の手順に基づいてPDCAサイクルを確立し、カリマネを次の①～③の三つの側面から捉えて教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ることが大切です。



【各教科等を通じた読解力の育成】

1

教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を**教科等横断的な視点**で組み立てていくこと。

研究協力校の取組

「児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を意識した各教科等の関連付け」

2

教育課程の実施状況を評価してその**改善**を図っていくこと。

研究協力校の取組

「全教職員の役割の明確化と役割に応じた評価・改善」



【研究協力校の若林校長先生】

3

教育課程の実施に必要な**人的又は物的な体制を確保**するとともにその**改善**を図っていくこと。

研究協力校の取組

「校内の教材・教具や地域人材、教育資源、学習環境などの可視化」



【外部人材とのランチミーティング】

カリマネを充実させるのに必要なことは何？

各学校において教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出すカリマネを実現するために、④カリマネに関する校内研修の充実や⑤組織運営の改善を図ることが大切です。



【組織的・継続的な校内研修】

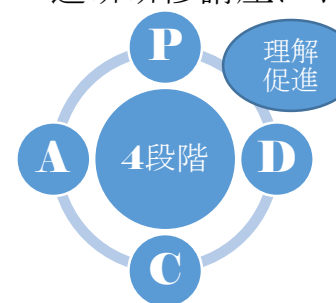
4

全教職員がカリマネの必要性を理解し、年間指導計画の在り方等について、評価・改善を図りながら**校内研修**を積み重ねていくこと。

研究協力校の取組

「児童生徒に身に付けさせたい資質・能力の共有と組織的・継続的な研修の実施」

＜道研研修講座におけるPDCAサイクル＞



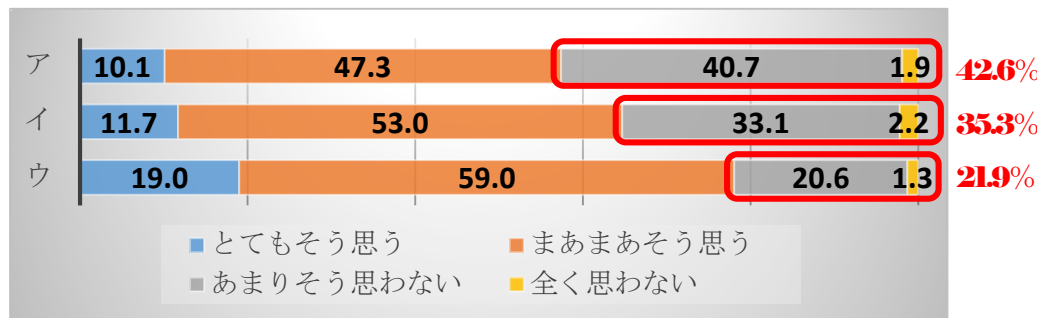
○ 道研研修講座では、P（編成）とD（実施）の間に教職員をはじめ、保護者や地域住民等と共通理解を図るための「理解促進」を位置付けて演習等を実施しています。

＜道研の先行研究＞

○ 学校教育目標を実現するためには、学校の内部組織の連携、さらに学校の枠を越えた外部組織との連携が必要であること。（「教育目標の具現化に関する研究」（平成8年度研究紀要））

＜本道の現状＞

- 自校のカリマネの現状について課題に感じている教員（「あまりそう思わない、全く思わない」と回答）の割合が多かった質問（上位3項目）
- ア カリマネという観点で研修の充実を図っていますか。
- イ 教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていますか。
- ウ 教育課程に必要な人的、物的な体制を確保するとともにその改善を図っていますか。



平成30年度に道研が実施したアンケート調査より（回答者は小・中・高校の教員(抽出)の合算）



【教職員によるワークショップ】

5

教育課程に基づく教育活動をより効果的に実施する観点から**組織運営**の改善を図っていくこと。

研究協力校の取組

「学校全体（必要に応じて外部人材や関係機関等を含む）で共通理解を図る仕組みづくりと役割の明確化」

カリマネのキャリア・ステージに応じた役割

【管理職は】

- 「教職員はもとより、保護者や地域の方に学校経営計画の理解を促すには、どうしたらよいだろうか？」



【ミドルリーダーは】

- 「子どもの学びの質の向上を図るため、学校全体で統一して取り組めることはないだろうか？」



【教科担任、学級担任は】

- 「日々の授業改善を図り、子どもに生きる力を育むために、カリマネの考え方を生かさないだろうか？」



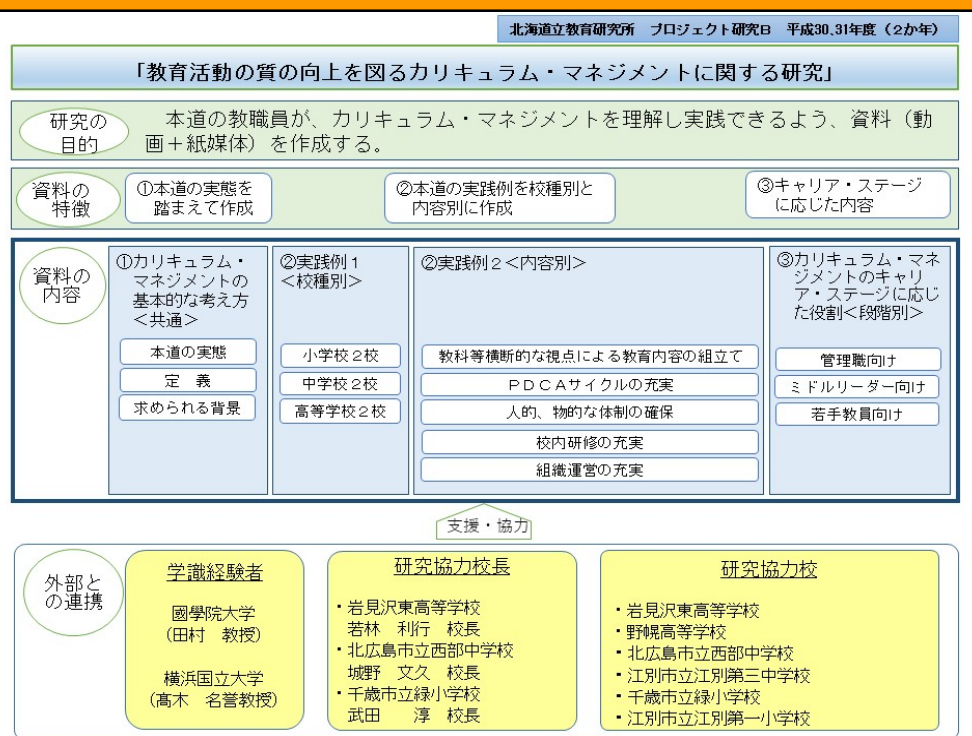
★動画で即理解！

それぞれの役割において、悩んでいたたり、課題を感じたりしていませんか？

小・中・高校の研究協力校の教職員が、自身が考え、実践しているカリマネについて語ります。

本研究では、特徴の一つとして、教員のキャリア・ステージに応じた役割で内容を構成しています。カリマネを円滑に推進するためには、地域・家庭との連携・協働により、「社会に開かれた教育課程」を実現する体制を整備することが大切です。

本研究の概要図



徹底した現場第一主義で未来教育の創造を。

北海道立教育研究所

〒069-0834
北海道江別市文京台東町42

TEL : 011-382-4511
<http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp>